

遺伝子組換え生物等及び拡散防止措置の一覧表

< 記入上の留意事項 >

核酸供与体	供与核酸	ベクター	宿主等	保有動植物等	拡散防止措置の区分	備考
HIV SIV	HIV の cDNA (遺伝子) SIV の cDNA (遺伝子)	pUC18	E. coli K12 株由来 HB101 株		P3	B 1 レベル ウイルスゲノムのクローニングとキメラウイルスの作成のため (作成予定のキメラウイルスの構造は別紙参照) (研究棟 階 実験室)
	上記組換え核酸 (HIV 遺伝子)		SIV ウイルス (HIV-SIV キメラウイルス)	ヒト由来細胞 ()	P3	大臣確認実験 組換えウイルスの産生のため (研究棟 階 実験室)
			上記組換えウイルス	ヒト由来細胞 () カニクイザル末梢白血球()	P3	大臣確認実験 培養細胞への接種実験 (研究棟 階 実験室)
			上記組換えウイルス	カニクイザル	P3A	大臣確認実験 動物への接種実験 (研究棟 階 飼育室)

- 1 本表には、当該第二種使用等に係るすべての遺伝子組換え生物等及び当該第二種使用等をする間に執る拡散防止措置の区分について記載する。また、核酸供与体、供与核酸、ベクター、宿主等、保有動植物等及び拡散防止措置の個々の組合せ並びに実験の一連の流れがわかるように記載する。
- 2 「核酸供与体」の欄には、核酸供与体となる生物の種名、系統名等を記載する。
- 3 「供与核酸」の欄には、ゲノムDNA、相補DNA、合成DNA等の供与核酸の種類や名称等を記載する。
- 4 「ベクター」の欄には、ベクターの名称を記載する。なお、ウイルスは、ベクターとして用いる場合であっても、宿主として扱われるので、宿主等の欄に記載する。
- 5 「宿主等」、「保有動植物等」の欄には、それぞれ、宿主、遺伝子組換え生物等を保有させている動物、植物及び細胞等の種名、系統名等を記載する。
- 6 「拡散防止措置の種類」の欄には、別表第二、別表第三、別表第四又は別表第五の上欄に掲げる拡散防止措置の区分を参考に、実験を実施する間に執る拡散防止措置の区分を記載する。
- 7 「備考」の欄には、以下の事項を記載する。
 - (1) 遺伝子組換え生物等及び拡散防止措置の組合せのうち大臣確認実験に該当する場合には、その旨
 - (2) 認定宿主 - ベクター系を用いる場合には、その区分
 - (3) 各段階における主な目的等
 - (4) 使用する実験室、実験区画、実験区域、飼育区画及び網室